

一般社団法人日本粉体工業技術協会
2022 年度 第 3 回電池製造技術分科会 開催案内

一般社団法人日本粉体工業技術協会 電池製造技術分科会

コーディネータ	産総研名誉リサーチャー	境 哲男
副コーディネータ	東京大学名誉教授	堤 敦司
代表幹事	(株) パウレック	堀越 勝
副代表幹事	渋谷工業 (株)	山田 正
副代表幹事	(株) タナベ	木村正人

本年度の第 3 回電池製造技術分科会を下記要領にて開催致します。

本分科会は、24 年前に電池製造に係る粉体技術の向上を図るために設立されて以来、自動車や電力、電池、材料、装置などの企業群及び研究機関を横断した交流の場を提供して参りました。本年度は、対面と WEB のハイブリッドとして開催して参りましたが、第 3 回は対面のみでの講演会を企画しておりますので、是非とも現地にてご参加し、情報交換等行って頂ければと思います。

我が国は、1992 年のリチウムイオン電池 (LIB) の商品化以来、自動車や携帯機器、電池、材料、製造装置などの電池産業において世界をリードして参りました。それらの功績により、2019 年には、吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞されました。ただ、最近では、この優位性は急速に失われつつあります。

中国や EU、米国を中心に、電気自動車 (EV) の本格的な普及と車載電池の量産が急速に進んでいます。従来の LIB 技術は飽和しつつあり、中国や韓国メーカーが大量製造で主導権を握りつつあります。ただ、EV にとって重要な、安全性や急速充電特性、エネルギー密度などの課題は残されています。EU では、「電池規則」を施行して、電池及び電池構成材料の二酸化炭素の発生量の開示や、一定比率のリサイクル材料の使用を義務付けるなど、「標準化」で主導権を握りつつあります。今後、この分野の産業競争力を向上させるためには、次世代電池を早期に実用化する必要があり、そのためには電池や材料、装置などの企業連携が不可欠です。

第 1 回分科会においては、量産 EV の蓄電池や燃料電池の分解調査、チタン系酸化物系負極の発展、硫黄系正極の開発状況、リサイクル技術の動向について、第 2 回分科会においては、電池業界を取り巻く状況、インクジェットプリント製造技術、発泡材料技術、固体電池技術について講演を頂きました。

今回の第 3 回分科会においては、EU における電池製造や材料製造における状況や、次世代電池の実用化の状況、シリコン系負極の実用化に向けた取り組みなどのご講演を頂きます。また、講演会の後では、交流会 (名刺交換会など) も企画しています。参加ご希望者につきましては、文末にあります申込項目をご記入の上、お申し込みください。

開催日時 : 2023 年 2 月 14 日 (火) 13:00~19:00

開催形式 : 対面形式 ※今回は WEB 開催は行いません。会場にお越しくください。

講演会 12:30 開場 13:00~17:40 4 号館 バスホール (定員 : 150 名、先着順)

会場 : 京都リサーチパーク

講演会 : 4 号館 バスホール (JR 丹波駅から徒歩 5 分)

交流会 : 1 号館 アトリウム

世話人 : (株) タナベ 木村正人氏

【講演会プログラム】

- 13:00-13:10 開会挨拶 産業技術総合研究所 名誉リサーチャー 境哲男氏
- 13:10-14:00 ①「グリーンなバッテリーを作ることに拘る Northvolt」
Northvolt Japan K.K. 代表取締役 阿武保郎氏
- 14:00-14:50 ②「クレイ型 LIB と京セラ製蓄電システム Enerezza®の紹介と今後の技術展開」
京セラ株式会社 エネルギーシステム研究開発部 蓄電デバイス開発部
主席技師 三島洋光氏
- 14:50-15:10 休憩
- 15:10-16:00 ③「BASF グループの正極材に関わる将来展望」
BASF 戸田バッテリーマテリアルズ合同会社
テクノロジー ディビジョンヘッド 矢野貴利氏
- 16:00-16:50 ④「シリコン負極用無機バインダーの開発」
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 金属表面処理研究部 表面化学研究室
主任研究員 齊藤誠氏
- 16:50-17:10 ⑤「タナペロータリーキルンの特徴と電池分野の実例紹介」
株式会社タナベ 東京本部 エネルギー事業推進グループ 青木太三氏
- 17:10-17:20 閉会挨拶 東京大学 名誉教授 堤敦司氏
- 17:30-19:00 交流会（名刺交換会など）

参加費：会員 10,000 円、 非会員 12,000 円

申込先：

Peatix 下記 QR コードまたは HP からお申し込みください。

※ 本会からイベントペイから Peatix 社による支払いシステムに変更しました。

参加費支払い方法 クレジットカード決済、コンビニ決済（セブンイレブンは使用不可）および ATM 決済となっています。

次の HP より申込みをよろしく申し上げます。

Peatix イベントのアドレス：

<https://peatix.com/event/3444373/view?k=b1395e285a775b25031390fd09023bccdf42f1e4>



QR コード

定員： 150 人 （先着順）

入金締切 2023 年1月 31 日(火)

※ クレジットカード決済、コンビニ（セブンイレブンは使用不可）またはATM 決済にて、1月31日までにご入金完了をお願いいたします。

※ キャンセルは前日（2月13日AM）まで受付できます。上記 世話人までご連絡をお願いいたします。

※ 予稿集は当日会場にてお渡し致します。

ご不明な点がございましたら、下記世話人までご連絡ください。

（株）タナベ 木村正人 (mkimura@tanabe-co.co.jp)

以上